



よいお年を…

猛暑の中、8月下旬から始まった2学期も、本日で終わりです。1学期は新型コロナ感染症が流行する中で、感染を予防するため最小限の活動に制限された中での学校生活でしたが、2学期は感染予防に気をつけながら、徐々に通常の活動に戻していくこととすることで、体育大会・文化発表会などの大きな行事や部活動なども行われ、「中学生になったんだなあ～。」ということが、改めて感じられた日々になつたのではないかと思います。

さて、明日からは冬休みが始まります。12日間とそれほど長い期間ではありませんが、**今年1年(2020年)を振り返り、来年の飛躍につなげるためには重要な時期**だと思います。

先日は懇談がありましたが、中学校生活に慣れていくにつれて、悪い意味で緊張感がなくなってきて、以前できていたことがおろそかになってきているのでは?というような注意をされた人もいるのではないかでしょうか。しっかりと反省をして、今後の自身の成長につなげましょう。

また、年明けの13日には「チャレンジテスト」が実施されます。苦手な分野がある人は、しっかりと復習をしておきましょう。

大阪府公立高等学校入学者選抜調査書評定の府内統一ルール(1・2年生)について

- ① 府教育委員会は、各学年の2学期末までの府内公立中学校の評定の状況と、1月に実施するチャレンジテストの結果を使って、各学年の「府全体の評定平均」を定めます。
- ② 各中学校は、1月に実施するチャレンジテストの自校の結果と府全体の平均とを比べて、自校の各学年の「評定平均の範囲」を算出します。

[例]中学1年生の府全体の評定平均が3.36の場合の「評定平均の範囲」

	X中学校	Y中学校	府全体
中1チャレンジテストの平均得点	57.0点	63.0点	60.0点
中1チャレンジテストの対府比【A】	0.95	1.05	1.00
評定平均の目安【B】 〔府全体の評定平均〕 × 【A】〕	3.19	3.53	3.36
評定平均の範囲〔【B】 ± 0.3〕	2.89～3.49	3.23～3.83	—

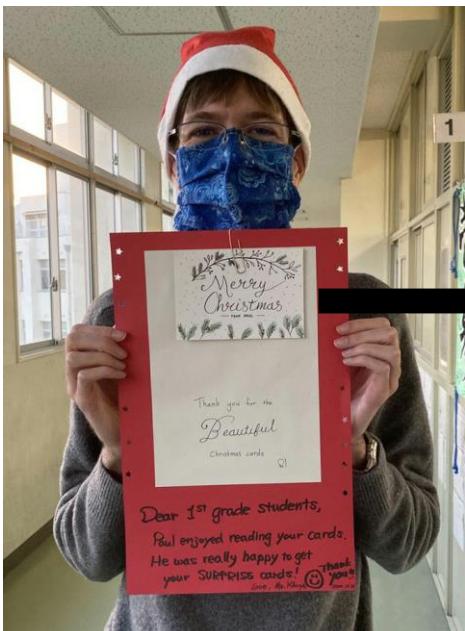
- ③ 各中学校は、自校の各学年全体のチャレンジテスト実施教科(中学1年生は3教科(国、数、英)、中学2年生は5教科(国、社、数、理、英))の評定の平均と、②で求めた「評定平均の範囲」を比べ、適切な評価が行われているか検証します。「評定平均の範囲」に収まらない場合は、評価の方法の見直しを行った上で、評定をつけます。

※事業の一部(調査問題の配送・回収、採点・集計等)は、大阪府教育委員会が民間機関に委託して実施します。

もちろん年末年始ですので、おうちのお手伝いや大掃除など、家族の一員としてしっかりとその役割を果たし、文字通り「よい年」を迎えられるようにしましょう!

Paul先生へのサプライズ・プレゼント

1年生みんなで、C-NETのPaul先生へメッセージカードを贈りました。クリスマスカードの人が多いようですが、来月のPaul先生のお誕生日をお祝いするバースデーカードを贈った人もいるようですね。



Merry
Christmas
—FROM PAUL—

Thank you for the
Beautiful
christmas cards.

Paul

Dear 1st grade students,
Paul enjoyed reading your cards.
He was really happy to get
your SURPRISE cards!

Thank you!
Love, Ms.Kikuya ☺



保護者の皆様へ

先日は学期末懇談のために中学校まで足を運んでいただきまして、ありがとうございました。体育大会・文化発表会、そして2回の定期テストと盛りだくさんな2学期でしたが、生徒たちは精一杯頑張り、またみんなで協力して日々の経験を自らの自信と成長につなげていけているのではないかと思います。多感な時期でもありますので、なかなか前向きな姿勢を表に出せず、失敗したり間違った行動になってしまふ場合もありますが、保護者の皆様と協力しながら克服させていきたいと考えています。今後ともよろしくお願ひいたします。

